

看護部

渡津千代子

平成 24 年度は、第 66 回総合医学会会長施設としての動きと病院機能評価受審にむけた動きが同時進行した。看護部の活動は、この大きな 2 つの動きを意識して「安全で質の高い看護の提供」「病院機能評価受審に向けた職員の士気向上」「ワーク・ライフ・バランスの充実」「病院経営への積極的参画」「人材育成」の 5 つの柱を目標にあげ取り組んだ。

中堅看護師の定着を図るためにキャリアニーズをもとに積極的に配置換えを行っていった。特に救命救急センターの HCU を 4 : 1 にするために 16 名の看護師の配置換えを平成 24 年 10 月から順次行い 3 月 1 日で体制を整えた。ちょうど 4 年目看護師が多く希望し中堅が集まる傾向となった。それに伴い、救命救急センターからの患者さんの後方の受け入れ強化や退院支援を強化するために地域医療連携室に看護師長を配置した。看護実践力強化においては副看護師長達を中心に新人コースとしてスキルアップ研修を充実させていった。また時間外の「未実塾」の塾生も積極的に学びを深め、クリスマスには聖歌隊として病院に貢献し NHO だよりも掲載までに至った。政策医療に特化した看護部政策医療プロジェクトやチーム医療における委員会では、目標に沿ってエイズ看護は HIV/AIDS 看護師研修の開催、がん看護はがん看護研修の開催、循環器看護は患者さん及び家族を対象に急変時の対応研修、災害看護は看護師長を対象にロジスティック研修とそれぞれが活動を意欲的に行った。

看護研究業績では、著述 10 題、国際学会での発表 (1 題)、第 66 回国立病院総合医学会と日本エイズ学会でのシンポジウムのシンポジスト (2 題) 第 66 回国立病院総合医学会 (31 題) 国立病院看護研究学会 (2 題)、日本助産学会(1 題)、日本乳癌学会学術総会 (2 題) 日本緩和医療学会 (1 題) 日本がん看護学会 (1 題) 日本死の臨床研究会 (1 題)、日本集団災害医学総会・学術集会 (1 題) 日本エイズ学会 (1 題) 糖尿病教育・看護学会 (1 題) 近畿地区国立病院看護学会 (2 題) 中央区 DM 連携フォーラム (2 題)、日本臨床薬理学会 (1 題) CRC と臨床試験のあり方を考える会 (1 題) 等で積極的に発表した。今年度も外部講師による研究に関する講演 2 回と研究指導を 4 回実施し、外部への発表を増やすことに繋がった。

当院には、急性・重症患者看護専門看護師 1 名、慢性疾患看護専門看護師 1 名、認定看護師としてがん性疼痛看護 3 名、がん化学療法看護 3 名、緩和ケア 2 名、乳がん看護 1 名、救急看護 3 名、集中ケア 1 名、皮膚・排泄ケア 2 名、感染管理 3 名、糖尿病看護 1 名、認定看護管理者 1 名の計 20 名と HIV コーディネーター 3 名、臨床研究コーディネーター 4 名、合計 29 名のスペシャリストがいる。また、JNP (日本版診療看護師) 2 名を迎え施行事業が始まり、施設全体が好意的に受け入れこれまで以上に医療、看護の質の向上に繋がっている。看護部全体が「学習する組織」を目指していきたい。

【2012 年度研究発表業績】

A-4

江並亜希子:「皮膚症状(EGFR 阻害薬の)」 プロフェッショナルがんナーシング. 第 2 巻 3 号 P41
~47 (株) メディカ出版 2012 年 6 月

江並亜希子:「手足症候群」 プロフェッショナルがんナーシング 第2巻3号 P48~52 (株) メディカ出版 2012年6月

江並亜希子: がん化学療法看護における曝露対策 Switchcase 2012. 4 vol.4 (株) ファーマインターナショナル

江並亜希子:「質問BOX」 泌尿器ケア 第17巻9号6月 (株) メディカ出版 2012年6月

四方文子: クリニカルパスを利用した継続看護への取り組みと外来看護のかかわり。乳腺外科における継続看護・病棟との連携 新時代の外来看護 季刊 日総研グループ

福井久美子: 事例/支える: 労働環境整備 最長 13 時間夜勤の二交代制勤務導入。看護 2012. 5 月 臨時増刊号 日本看護協会 2012年5月

江並亜希子:「こんなとき、どうする?をスッキリ解決!」がん化学療法看護。月刊ナーシング 第32巻8号 7月 (株) メディカ出版 2012年7月

江並亜希子:「こんなとき、どうする?をスッキリ解決!」がん化学療法看護。月刊ナーシング 第32巻11号 (株) メディカ出版 2012年10月

江並亜希子:「こんなとき、どうする?をスッキリ解決!」がん化学療法看護。月刊ナーシング 第32巻14号 (株) メディカ出版 2012年12月

四方文子: 認定取得への準備と学習法 がん関連5分野認定看護師受験羅針盤。がん患者ケア特別号 2013. 1月 第1版第1刷 日総研グループ

B-2

上田純子: Aromatherapy as Symptom Relief for Cancer Patients EAPC 学会ノルウェー 2012年 6月

B-3

下司有加: 長期療養時代の HIV 感染症 第66回国立病院総合医学会 神戸市 2012年 11月

下司有加: 教育セミナー 第26回 日本エイズ学会 横浜市 2012年 11月

B-4

大空美由紀: 災害発生時の母体・新生児のケアとサポート 第68回 日本助産師学会 千葉県 2012年 5月

江並亜希子: 乳癌 DTX 療法と過敏症の発症に関する検討 -過敏症に対する投与方法の工夫-

第 20 回 日本乳癌学会学術総会 熊本市 2012 年 6 月

四方文子：若年性乳がん患者の情報収集方法とニーズ 第 20 回 日本乳癌学会学術総会 熊本市 2012 年 6 月

上田純子：A 病院におけるがん看護ステップⅡ研修の評価 第 1 回 日本緩和医療学会。神戸市 2012 年 6 月

山口愛美：糖尿病患者看護に対する達成感の検討 第 14 回 糖尿病教育・看護学会。2012 年 9 月

高橋雪子：ICU 入室患者の早期退室に向けた取り組み ―病棟看護師の ICU 研修を導入して― 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

西口智子：脳梗塞患者の自宅退院後の生活状況を明らかにする―患者目線の脳梗塞退院指導パンフレットの充実に向けて― 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

高橋博之：当院における心臓カテーテル検査前オリエンテーションの現状と課題 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

田口弘美：子宮頸癌・子宮体癌・陰癌に対する放射線組織内照射治療後の有害事象についての調査―退院指導の充実にむけて― 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

伴 佳美：子育てサークルに参加した母親の育児不安と母親同士の仲間づくりの現状―子育てサークルの成果と課題の明確化に向けて― 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

井上真季：眼科患者の転倒転落防止における今後の課題 ―アセスメントの実際から― 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

松本洋美：注射薬剤を確実に投与するための最も有効な確認作業はダブルチェックなのか 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

南部美帆：睡眠剤の副作用説明と転倒・転落インシデント発生率との関連性について 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

西川琴美：化学療法を受け入退院を繰り返す患者に対する看護師の言語的コミュニケーションにおける自己評価・他者評価の現状と課題 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

三山優：改訂後の全人工股関節置換術患者のクリニカルパスにおけるバリエーションの内容の分析
第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

江並亜希子：乳癌 DTX 療法と過敏症の発症に関する検討 ―過敏症に対する投与方法の工夫―
第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

島麻美子：採血・点滴挿入時の人形劇によるプレパレーションの有効性 第 66 回国立病院総合医学会
神戸市 2012 年 11 月

盛本優香：ICU における NST 活動と今後の課題 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市
2012 年 11 月

保枝菜月：胃癌術後患者の食事摂取に対する不安を軽減するための看護師の食事指導の有用性
第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

田中世界：退院調整の実態 ―退院支援スクリーニングとカンファレンスを活用して― 第 66
回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

谷口美由紀：手形寒天培地を用いた手指衛生教育の取り組み 第 66 回国立病院総合医学会
神戸市 2012 年 11 月

山中真理子：ICU に緊急入室した患者の家族が看護師に求める対応 第 66 回国立病院総合医学
会 神戸市 2012 年 11 月

井内典子：病棟内の新人教育体制を見直して ―平成 22 年度と 23 年度を比較してわかったこと
― 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

齊藤明音：看護実践に困難を感じる終末期がん患者の対応を経験した看護師の心理的影響 第
66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

片山奈緒美：家族を理解した関わり ―家族エンパワーメントにあてはめて― 第 66 回国立病院
総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

山口牧子：弾性ストッキングによる皮膚トラブル発生の傾向 ―婦人科手術を受ける患者のリス
クファクターとは― 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

吉岡千種：当病棟におけるストーマ看護実践能力の把握とその関連因子の検討 ―病棟看護師の
ストーマ看護能力の向上を目指すために― 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11
月

四方文子：A 病院におけるがん看護教育プログラムの評価 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

嶋坂沙知：リーダースhip 及びメンバーシップから構成される ACLS の勉強会の成果 —救命センタースタッフの ACLS の習得に向けて— 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

中野志麻：災害発生時の母体・新生児のケアとサポート —災害拠点病院における周産期領域の初期対応を踏まえて— 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

井出恭子：A 病棟における Palliative Care Conference での認定看護師の役割の検討 —病棟看護師の認識 実態調査から— 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

上田純子：「がん患者カウンセリング料」算定後の患者サポートシステムの構築へ向けて 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

松井美里：肺癌の化学療法を受ける患者の理解状況と予防行動に焦点を当てて 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

藤田和代：QC 活動 チームで進める NST！グループ活動と栄養サポートチーム 第 66 回国立病院総合医学会 神戸市 2012 年 11 月

上田純子：認知機能の低下から意思決定に困難を生じた乳がん患者への支援 —残される子供、実母への支援を中心に— 第 36 回 日本死の臨床研究会 京都 2012 年 11 月

下司有加：訪問看護ステーションにおける HIV 陽性者の受け入れに関する研究第 26 回日本エイズ学会 横浜 2012 年 11 月

宮地由紀子：看護管理能力向上に向けた研修の取り組み 第 10 回 国立病院看護研究学会 名古屋 2012 年 12 月

木戸倫子：新人看護師の看護判断能力に働きかけるフィジカルアセスメント研修の実践報告 第 10 回 国立病院看護研究学会 名古屋 2012 年 12 月

鈴木智子：災害時に待機的治療群救護所（黄色救護所）が混乱しないための課題 。第 18 回 日本集団災害医学総会・学術集会 神戸市 2013 年 1 月

林 奈央：A 病院における安全ながん化学療法看護への取り組み —院内マニュアルの活用状況と課題の検討— 第 27 回 日本がん看護学会 金沢市 2013 年 2 月

B—6

上田純子：A 病院におけるがん看護教育プログラムの評価 第 54 回近畿地区国立病院看護学会
大坂市 2012 年 10 月

溝渕久美代：手術室看護師が入室準備時間において行っている環境整備 第 54 回近畿地区国立
病院看護学会 大坂市 2012 年 10 月

山尾美希：当院の糖尿病教育入院の現状 DM 第 6 回中央区 DM 診連携フォーラム。淀屋橋
2012 年 10 月

福山雅代：フットケア外来での取り組み DM 第 6 回中央区 DM 診連携フォーラム。淀屋橋
2012 年 10 月

B—8

山尾美希：訪問診療医と本問看護ステーションとの連携 大阪府八尾保健所 2012 年 6 月

松本洋美：災害医療の基礎と災害時における具体的活動 大阪警察病院 2012 年 9 月

下司有加：「HIV と看護」 ～対象の理解とケア～ 大阪赤十字看護専門学校 2012 年 12 月

下司有加：「HIV 感染への実際的な取り組み」について 大阪府済生会泉尾病院 2012 年 12 月

下司有加：「HIV の動向と HIV 患者の看護」 NHO 大阪南医療センター 2012 年 12 月

治川知子：「HIV 陽性者への療養支援の実際」 ハートケアグループ 2013 年 1 月

下司有加：第 8 回看護師のためのエイズ診療従事者研修アドバンスト・コース」 広島大学病院エイ
ズ医療対策室 2013 年 1 月

松本洋美：「災害看護とは」 講義 公益財団法人日本生命済生会付属 日生病院 2013 年 2 月

下司有加：「HIV/AIDS の基礎知識と療養支援」 講演（株）メッセージ 大阪南部地区 アミュ天下茶
屋駅前 2013 年 2 月

下司有加：HIV/エイズについて専門的な立場の人からお話しを聞く 豊中市立高川小学校 2013
年 2 月

松田勇児：医療記録作成の工夫と対策「病棟で作成・管理している書類」 講演 大阪府保険医協
会 2013 年 2 月

下司有加：「HIV/AIDS の基礎知識」講演（株）日本エム・エー・シー 2013年2月

江並亜希子：第3回 がん化学療法セミナー① メディカ出版 2012年6月

江並亜希子：第3回 がん化学療法セミナー② メディカ出版 2012年6月

江並亜希子：第3回 がん化学療法セミナー③ メディカ出版 2011年7月